

UCCX ライセンスの基本

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ライセンス ファイル コンポーネント](#)

[必須コンポーネント](#)

[追加コンポーネント \(追加項目\)](#)

[ライセンス ファイル仕様](#)

[ライセンスを確認して下さい](#)

[UCCX 管理 ページが付いているライセンスを確認して下さい](#)

[CLI のライセンスを確認して下さい](#)

[ライセンスを削除して下さい](#)

[ベスト プラクティス](#)

[ライセンス ファイル コンテンツを確認して下さい](#)

[無効 な、期限切れのライセンスを取除いて下さい](#)

[ライセンス問題を解決して下さい](#)

[ライセンスを削除することが不可能](#)

[解決策](#)

[不正確な座席 の 番号](#)

[解決策](#)

[IVR ポートの不正確な数](#)

[解決策](#)

概要

ライセンスをおよび基本的なライセンスの問題を取除く方法をこの資料に Cisco Unified Contact Center Express (UCCX) サーバで現在インストールされている確認する方法をライセンス、解決する方法を記述されています。

前提条件

要件

以下についての知識をお持ちの上でこの文書をお読みになることを推奨します。

- UCCX
- UCCX 認可

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は UCCX バージョン 11.0(1)に基づいていますが、バージョン 8.x およびそれ以降に適用です。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

ライセンス ファイル コンポーネント

必須コンポーネント

ライセンス パッケージ コンポーネント (パッケージ):

購入されるライセンスの主要なライセンス パッケージ。すなわち高められるまたは事項。ライセンス ファイルのこのコンポーネントなしでサーバは表示する「パッケージをどれも」

シート コンポーネント (シート):

エージェントを備えている主要なコンポーネントはコンポーネントをつけます。エージェントシート ライセンスは Cisco Finesse デスクトップにログオンのためにエージェント使用されます。ライセンス ファイルでは、それにありますストリング「シート」が

認可されたポート (総 IVR ポート):

これはライセンス ファイルの個別のコンポーネントではありません。拡張なパッケージでは、それは OVUM 設定 (100、300 か 400 の標準 IVR ポート) に依存しています。優れたパッケージでは、それは比率 1 シートにあります: 2 つの高度 IVR ポート。ポート仕様が含まれているライセンス ファイルに特定の行がありません。

追加コンポーネント (追加項目)

ライセンス ファイルの追加追加項目があることができます。

- **HA (High Availability) コンポーネント:** クラスタに第 2 ノードを追加することを可能にするこれはコンポーネントです。
- **送信 IVR ポート コンポーネント:** 進歩論者およびプレディクティブ ダイアラによって基づくキャンペーンのための発信 IVR ポートを提供するこれはコンポーネントです。
- **記録コンポーネント:** MediaSense によって基づく記録のための記録セッションを提供するこれはコンポーネントです。
- **QM (品質マネージャ) シート コンポーネント:** これらのシートは Cisco 品質 管理と統合とき使用されます。
- **AQM (高度品質マネージャ) シート コンポーネント:** これらのシートは Cisco との統合が品質 管理を進めたときに使用されます。
- **WFM (労働力マネージャ) シート コンポーネント:** これらのシートは Cisco 人事管理と統合とき使用されます。
- **シート コンポーネントを記録する準拠性:** これらのシートは機能を記録する準拠性を Cisco

品質管理と使用するとき使用されます。

ライセンス ファイル仕様

通常認可する Cisco から得られるライセンス ファイルにあります拡張 (.lic) が

例えば: IPCC<unique characters> .lic

あらゆるテキストエディタの .lic ファイルを開き、ライセンス ファイルの異なるコンポーネントをチェックできます。

得られるライセンス ファイルでは主要なコンポーネントは開始および終了タグと定義されます。

その特定のコンポーネント </count> の <count>COUNT

発行されたサーバ </MAC> のための <MAC>LICENSE MAC

コンポーネント名

コンポーネント名は認可されている主要なコンポーネントです。

例: UCCX 11.0 優れたシート コンポーネント (シート型を示す 100 つのシート) のための永続的なライセンス ファイル「シート」。

```
INCREMENT CRS_PRE_SEAT cisco 11.0 permanent uncounted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
満期日
```

永続的なライセンスにストリング「パーマネント」があります。一時ライセンスはファイルの有効期限を過ぎます。

有効期限以降に、これらの一時ライセンスは無効であり、システムはライセンスを更新するために 30 日の猶予期間を与えます。

```
INCREMENT CRS_PRE_SEAT cisco 11.0 permanent uncounted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
count
```

それは認可されるエンティティの数です。

例:

```
INCREMENT CRS_PRE_SEAT cisco 11.0 permanent uncounted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
このコンポーネントのための 100 つの認可されたシートを意味します (優れたシート)
```

ライセンス MAC

各 UCCX サーバにユニークなのは固有の識別番号です。それはサーバのネットワーク インター

フェイスの物理的な address/MAC ではありません。

あなたのをを見つけることができます: UCCXApplication Administration は >> Display ページ認可
します。

または CLI (コマンドラインインターフェイス) の使用によってコマンドを入力できます: `show
status`

UCCX のライセンス MAC は各サーバにユニークな次のパラメータを使用して計算されます。

これらのパラメータの何れかのどの変更でもサーバのライセンス MAC を無効にすることができ
ライセンスは Cisco 認可によって rehosted なりません。

- 時間帯
- NTP サーバ 1 (または 「どれも」)
- NIC 速度 (または 「自動」)
- [hostname]
- IP アドレス
- IP マスク
- ゲートウェイ アドレス
- Primary DNS
- SMTP サーバ (または 「どれも」)
- 証明書情報 (組織、ユニット、Location、状態、国)

例 : ここでは、これはですライセンス MAC 「FFFFFFFFFFFF」のデモライセンス

```
INCREMENT CRS_PRE_SEAT cisco 11.0 permanent uncounted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  

```

ライセンスを確認して下さい

このセクションは UCCX 管理 ページか UCCX サーバで現在インストールされているライセンス
を確認するために CLI を使用する方法を記述します。

UCCX 管理 ページが付いているライセンスを確認して下さい

UCCX クラスタで利用可能、UCCX 管理 ページにログインし、システム > ライセンス 情報 > デ
ィスプレイ ライセンスにナビゲート する ライセンス 機能を確認するため:

License Information

Cumulative License Information Delete

Configured Licenses:

Package: Cisco Unified CCX Premium

Total IVR Port(s): 100

Cisco Unified CCX Premium Seat(s): 300

High Availability : Enabled

Cisco Unified CCX Preview Outbound Dialer: Enabled

Cisco Unified CCX Quality Manager Seat(s): 300

Cisco Unified CCX Advanced Quality Manager Seat(s): 300

Cisco Unified CCX Workforce Manager Seat(s): 300

Cisco Unified CCX Compliance Recording Seat(s): 300

Cisco Unified CCX Maximum Agents: 400

Inbound:

Available Inbound IVR Port(s): 90

Outbound: (Predictive and Progressive only)

Cisco Unified CCX Licensed Outbound IVR Port(s): 100

Cisco Unified CCX Outbound IVR Port(s) In Use: 10

Cisco Unified CCX Licensed Outbound Agent Seat(s): 100

Cisco Unified CCX Outbound Agent Seat(s) In Use: 0

Preview Outbound Seat count can be configured in [System Parameters Configuration page](#) .

Current License MAC of the node: ef08d8e9886a

図 1 : 認可ページ

個々のライセンスおよび機能を表示するために廃棄メニューをクリックして下さい:

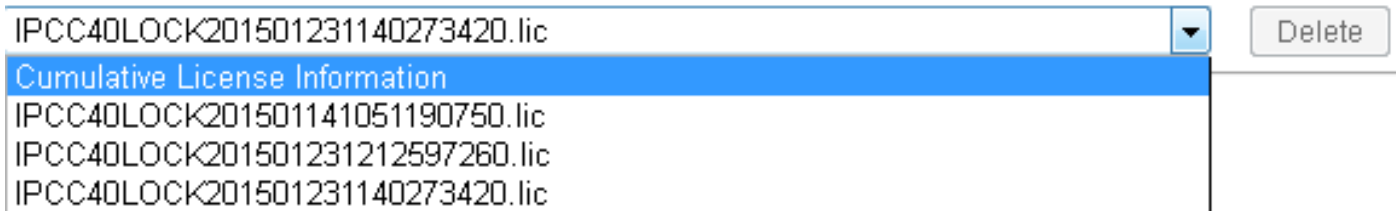


図 2：認可は廃棄します



図 3：ライセンスコンテンツ

ライセンス情報を表示するとき、それは主な特徴が正しいことを確認する好ましい習慣です。ライセンスファイルで確認する必要があるいくつかの主要機能はここにあります:

ライセンスエントリ

増分 CRS_PREICDSRVR cisco 11.0
 増分 CRS_PRE_SEAT cisco 11.0
 増分 CRS_EXP_PRE_WARM_STBY cisco 11.0
 増分 CRS_QM_SEAT cisco 11.0
 増分 CRS_ADV_QM_SEAT cisco 11.0
 増分 CRS_WFM_SEAT cisco 11.0
 増分 CRS_CR_SEAT cisco 11.0
 増分 CRS_OUTBOUND_IVR_PORT cisco 11.0
 増分 CRS_REC_PORT cisco 11.0

有効になる機能

サーバ 有効になる優れたパッケージ コア
 プロビジョン優れたエージェント シート
 高可用性の有効
 プロビジョン品質 管理シート
 プロビジョン品質 管理シート
 プロビジョン品質 管理シート
 プロビジョン品質 管理シート
 プロビジョン送信 IVR ポート (予言し、進歩的ただ)
 セッションを再コードする Mediasense のためのプロビ
 ン

表 1：パッケージ型および機能

有効になるすべてのコンポーネントとのライセンスの例 ファイル:

```
INCREMENT CRS_PREICDSRVR cisco 11.0 permanent uncounted \  
VENDOR_STRING=<count>1</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.  
.  
INCREMENT CRS_PRE_SEAT cisco 11.0 permanent uncounted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.  
.  
INCREMENT CRS_EXP_PRE_WARM_STBY cisco 11.0 permanent uncounted \  
VENDOR_STRING=<count>1</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.  
.  
INCREMENT CRS_QM_SEAT cisco 11.0 permanent uncounted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.  
.  
INCREMENT CRS_ADV_QM_SEAT cisco 11.0 permanent uncounted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.  
.  
INCREMENT CRS_WFM_SEAT cisco 11.0 permanent uncounted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.  
.  
INCREMENT CRS_CR_SEAT cisco 11.0 permanent uncounted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.  
.  
INCREMENT CRS_OUTBOUND_IVR_PORT cisco 11.0 permanent uncounted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.  
.  
INCREMENT CRS_REC_PORT cisco 11.0 permanent uncounted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.
```

CLI のライセンスを確認して下さい

また UCCX サーバのセキュアシェル (SSH) セッションによって CLI の現在インストール済みライセンスを確認できません。電流機能およびシートをチェックするために、提示 `uccx license コマンド` を入力して下さい:

上記のライセンス ファイルを加えることは次のパラメータを表示する。

```
admin:show uccx license  
Configured Licenses:  
  
Package: Cisco Unified CCX Premium  
IVR Port(s): 200  
Cisco Unified CCX Premium Seat(s): 100  
High Availability : Enabled  
Cisco Unified CCX Preview Outbound Dialer: Enabled
```

Cisco Unified CCX Quality Manager Seat(s): 100
Cisco Unified CCX Advanced Quality Manager Seat(s): 100
Cisco Unified CCX Workforce Manager Seat(s): 100
Cisco Unified CCX Compliance Recording Seat(s): 100
Cisco Unified CCX Maximum Agents: 400
Cisco Unified CCX Licensed Outbound IVR Port(s): 100
Cisco Unified CCX Licensed Outbound Agent Seat(s): 100
For dynamic content like the Inbound ports In Use and Outbound IVR Ports/Agent Seats
In Use please check using the Cisco Unified CCX Administration.

UCCX サーバで現在インストールされているライセンスすべてを表示するために、**utils uccx リスト license** コマンドを入力します:

```
admin:utils uccx list license
The following licenses are uploaded in the system:
IPCC40LOCK201501231140273420.lic
IPCC40LOCK201501141051190750.lic
IPCC40LOCK201501231212597260.lic
```

Command successful.

削除ライセンス

UCCX のライセンスには 2 つの型があります: 一時および常置。一時ライセンスは GUI によって
取除くことができます永続的なライセンスは CLI からしか取除くことができません。

ライセンスを取除くために、**<licenseName>** がライセンスのフルネームである **utils uccx 削除ラ
イセンス <licenseName>** コマンドを入力して下さい。

注: このコマンドを実行した後、UCCX サーバは再起動する必要があります。第 2 ノードが
ある場合、コマンドは両方のノードで入力する必要があり両方のノードの再始動が必要とな
ります。

次に出力例を示します。

```
utils uccx delete license <licenseName>
admin:utils uccx delete license IPCC40LOCK201501231212597260.lic
Warning:
Deleting the license may have adverse effect on the working of the uccx system.
After deleting the license from all UCCX nodes, restart the UCCX nodes in the cluster.
Are you sure you want to run this command?
Continue (y/n)?
```

ベスト プラクティス

ライセンス ファイル コンテンツを確認して下さい

ライセンス ファイルを開き、疑わしい UCCX サーバでそれを加える前にコンテンツをチェック
して下さい。

- バージョンが正しいことを確認して下さい。
- コンポーネントの数が正しいことを確認して下さい。
- 同じサーバでインストールされる優れた、拡張 なコンポーネントの組み合わせがないことを
確認して下さい。

- 必須コンポーネントが既にサーバの (パッケージ及びシート) あっている確認して下さい、または提供されるライセンス ファイルで現在であることを確かめて下さい。

無効 な、期限切れのライセンスを取除いて下さい

それは新しいものをアップロードする前に冗長 なか期限切れのライセンス ファイルを取除く好ましい習慣です:

- 有効期限をサーバさかのぼる交差させた古い一時ライセンス ファイルを取除いて下さい。
- 実施されるためにすべての変更のためのライセンス クリーンアップの後で UCCX をリブートして下さい。

ライセンス問題を解決して下さい

このセクションは UCCX ライセンス問題に関して最も一般に見つけられた問題の 3 を解決する方法を記述します。

ライセンスを削除することが不可能

ライセンスはサーバから取除く必要がありますが Delete ボタンはグレイアウト しますようです。

解決策

Delete ボタンがグレイアウト しているようである場合、ライセンスが永続的なライセンスであることを示します。永続的なライセンスは UCCX 管理 ページから削除することができないし、`utils uccx 削除ライセンス <licenseName>` コマンドで CLI によって削除する必要があります。

不正確な座席 の 番号

UCCX で表示するライセンスの数は購入されるライセンスの数によって一致する。

解決策

サーバのライセンスの量および各ライセンスのための情報を確認して下さい。これが購入されたライセンスの数によって、または一致するか、UCCX が正しい量を表示する場合、単一の、強化されたライセンスを生成してもらうために [Cisco Technical Assistance Center \(TAC \)](#) に手を差し伸べて下さい。また、それらをライセンスのための `utils uccx リスト license` コマンド出力および待ち時間送信 して下さい。

TAC からライセンスを受け取った後、それをサーバに追加し、`utils uccx 削除ライセンス <licenseName>` (両方のノードから該当する場合) コマンドによって他の常置および一時ライセンスすべてを削除して下さい。完全なサーバを一度再起動して下さい。

IVR ポートの不正確な数

UCCX 認可ページは認可された Interactive Voice Response (IVR) ポートの最大量がライセンスによって許可される最大量より小さいことを示します。

解決策

優れたライセンスに関しては

優れたライセンスを使用するとき、この問題はシートを計算しなかったと発生します: 正しいポート比率。

各購入されたシートは 2 つの進められた IVR ポートを与えるために対応します。

例:

20 の優れたシートが付いているライセンス ファイルは 40 の進められた IVR ポートを与えます (比率 1:2 で)。

その他の情報に関しては [Cisco Unified Contact Center Express ソリューション リファレンス ネットワーク デザイン リリース 9.0\(2\)](#) のこれら二つのセクションを参照して下さい:

- [Cisco Unified Contact Center Express 外観および実装- IVR ポート](#)
- [サーバ キャパシティおよび制限](#)

拡張 なライセンスに関しては

この問題は一般的に UCCX が間違った開いた仮想 な アプライアンス (OVUM) で展開されるとき発生します。UCCX が使用できるようにするポートの量は OVUM に基づいています。これを訂正するために、UCCX は適切な OVUM 転用する必要があります。

その他の情報に関しては [Cisco Unified Contact Center Express ソリューション リファレンス ネットワーク デザイン リリース 9.0\(2\)](#) のこれら二つのセクションを参照して下さい:

- [Cisco Unified Contact Center Express 外観および実装- IVR ポート](#)
- [サーバ キャパシティおよび制限](#)

注: IVR ポートの数はサーバ キャパシティおよび制限セクションに記述されているように所定のサーバ プラットフォームのために、サポートされる最大数によって制限されます。仮想化されたデプロイメントシナリオでは、IVR ポートの最大数はある特定の仮想マシン テンプレートのためにサポートされる最大数によって制限されます。